

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数5,718件(前月比0.5、前年同月比1.8)で、2月をピークに3月は半減しています。今後さらに減少していくものと予想されます。その中で山鹿、菊池、人吉、有明の各地区からの報告が多いようです。

小児科定点

(全体傾向) 報告数9,868件(前月比0.6、前年同月比1.1)と前月から大幅に減少しており、インフルエンザ(前月比0.5)の減少によるものです。一方、咽頭結膜熱(前月比1.4)、水痘(前月比1.4)、突発性発疹症(前月比1.5)、ヘルパンギーナ(前月比3.6)が前月より増加していますが、水痘を除いて件数はそれほど多くはありません。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 報告件数119件(前月比0.9、前年同月比1.9)で、昨年12月をピークに毎月、連続的な減少傾向を認め、例年並みの推移を示しています。人吉地区からの報告が多いようです。
2. 咽頭結膜熱: 報告数107件(前月比1.4、前年同月比1.0)で、昨年12月以降、毎月増加傾向を認めます。菊池地区からの報告が多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎: 報告数346件(前月比1.2、前年同月比1.1)で、昨年12月をピークに、1、2月は漸減していましたが、3月は増加に転じました。熊本地区からの報告が多いようです。
4. 感染性胃腸炎: 報告数2,439件(前月比1.0、前年同月比0.7)で、前年同月と比べると少ないですが、2月から減少なく横ばい状態です。例年4月までは多いので注意が必要です。山鹿地区からの報告が多いようです。
5. 水痘: 報告数417件(前月比1.4、前年同月比0.7)で、昨年12月をピークに、1、2月は漸減していましたが3月は増加に転じました。例年1年の前半、6月までは発生が多いため、今後の動向に注意を要します。熊本、菊池、水俣、宇城、天草地区からの報告が多いようです。
6. 手足口病: 報告数4件(前月比0.6、前年同月比0.7)と、例年並みで少数の報告にとどまっています。熊本1件、水俣1件、天草2件の報告でした。
7. 伝染性紅斑: 報告数25件(前月比1.0、前年同月比0.2)で、2月と同数でした。昨年と比較すると今年は1月から少数で推移しています。
8. 突発性発しん: 報告数193件(前月比1.5、前年同月比1.1)で、2月と比較すると3月は増加していますが、年間を通してほぼ一定の件数で推移しており、その傾向は大きくは変わらないものと思われます。
9. 百日咳: 報告数0件(前月比—、前年同月比—)で、3月は報告ありませんでした。
10. ヘルパンギーナ: 報告数29件(前月比3.6、前年同月比0.8)で、2月が8件と少なかったため、3月の報告数は例年並みで少なかったものの前月比では増加を認めました。天草地区からの報告が多いようです。

11. 流行性耳下腺炎: 報告数250件(前月比1. 2、前年同月比0. 5)で、2月に比べ微増しています。しかし、今年は1月から前年より少数で推移しています。宇城、天草地区からの報告が多いですが、水俣地区からの報告が突出しています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎: 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎: 報告数61件(前月比1. 1、前年同月1. 5)と前月に続き増加傾向です。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 45件(前月比 1.1、前年比 1.1)で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性13件、女性32件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は15～39歳に見られ、女性は15～44歳に見られます。地域別は、熊本が37件、次いで宇城4件、山鹿2件、御船、有明各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数 16件(前月比 0.8、前年比 1.5)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性3件、女性13件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は20～44歳、女性は15～70歳以上と幅広く見られます。地域別は、熊本が12件、次いで八代3件、宇城1件でした。
3. 尖圭コンジローマ: 報告数 8件(前月比 2.7、前年比 0.7)で、前月比は増加し、前年比は減少しています。男女別は、男性5件、女性3件で、男性にやや多く見られます。年齢別は、男性は15～49歳、女性は15～29歳でした。地域別は、熊本が5件、次いで宇城2件、八代1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数 8件(前月比 0.7、前年比 1.0)で、前月比は減少し、前年比は同数でした。男女別は、男性が7件、女性1件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は20～54歳に、女性は20～24歳に見られます。地域別は、熊本が4件、次いで宇城3件、菊池1件でした。

基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎: 1件(前月比一、前年比一)の報告がありました。10～14歳:1件で、有明1件でした。
2. 無菌性髄膜炎: 1件(前月比0. 5、前年比0. 1)の報告がありました。20～24歳:1件で、熊本1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎: 12件(前月比0. 9、前年比2. 4)の報告がありました。0歳:1件、1～4歳:1件、5～9歳:4件、10～14歳:3件、15～19歳:1件、20～24歳:1件、70歳以上:1件で、熊本5件、阿蘇1件、人吉1件、有明4件、天草1件でした。
4. クラミジア肺炎: 1件(前月比1. 0、前年比0. 5)の報告がありました。10～14歳:1件で、熊本1件でした。

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:

64件の報告があり(前月比0.9、前年比0.9)でした。熊本地区から54件(84.4%)、山鹿4件、阿蘇1件、八代2件、人吉1件、有明2件でした。年齢は高齢者(70歳以上)が多く、50件(78.1%)認められます。また、0歳:1件、15~19歳:1件、25~29歳:1件、35~39歳:2件、55~59歳:1件、60~64歳:3件、65~69歳:5件でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:

4件(前月比0.7、前年比0.8)の報告がありました。30~34歳:1件、70歳以上:3件で、熊本1件、八代1件、有明2件でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症: 報告はありませんでした。

4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症:

報告はありませんでした。

届け出対象感染症

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| 1類感染症: | 報告はありませんでした。 |
| 2類感染症: | 結核:54件 |
| 3類感染症: | 細菌性赤痢:1件 腸管出血性大腸菌感染症:20件 |
| 4類感染症: | ありませんでした。 |
| 5類感染症(全数把握): | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:3件 |